

令和4年度指導教諭による「授業力アップ講座」⑤⑥

本年度も指導教諭の優れた授業及び協議、講義、実技講習指導等を広く公開し、授業改善、指導力向上等を図る講座を開設しています。今号では、小学校特別支援と小学校算数の2つの授業力アップ講座を紹介します。

10月26日(水) 奥州市立岩谷堂小学校 特別支援 柴山 佑美 先生

授業：自立活動「読み・書き・コミュニケーションの力を高める」

11月21日(月) 一関市立一関小学校 第4学年 算数 須藤 直子 先生

授業：分数をくわしく調べよう「分数の表し方」

柴山先生の授業から学ぶ特別支援のポイント！

- 実態→目標→支援→評価と一本筋が通った指導を意識すること。
- 誉める、認めるために「種をまき」、「しかけを用意して」たくさんの成功体験をさせること。

1 授業参観

温かい雰囲気の中で、テンポよく授業が進められました。最初の活動は、敬語クイズ。国語の時間に児童が作ったカードを使うことで、敬語がより身近なものになりました。



選んだ2つの条件を満たした言葉を探す「ナイス語彙ゲーム」は、とても盛り上がりました。漢字の学習では、プリントから黒板、ビンゴカードと必然的に練習回数が増える工夫がありました。

2 ICTの活用

大型提示装置を使い、時間の表示、DVD 動画の視聴等に活用していました。

3 協議

児童の興味を引く活動、楽しく活動できる環境、児童一人ひとりを見取りながらの声掛け等、参考になることがたくさんあったという感想が出されました。また、小学校では、中学校に向けて身に付けさせたいこと、中学校ではその先の進路等、校種を越えて情報交換ができました。参加した先生方が普段行っている取組の紹介もあり成功体験のために様々な手立てを準備しておくことは大切だということを確認しました。



参加者の声 (一部抜粋)

- ・学習指導だけでなく教育相談等様々なことについて他校の先生方のお話を聞くことができて良かった。
- ・校種を越えた話を聞く機会が無いので貴重な時間でした。いつかまた聞く時間があればよいなと思いました。
- ・45分の授業の中で、盛りだくさんの内容でしたが、どれも子どもをひきつける展開でしたし、めあてに迫った流れで勉強になりました。

須藤先生の授業から学ぶ算数の授業のポイント！

- 考え方を説明する時のよりどころとして「算数の目」を活用すること。
- 児童の思考の流れを意識して、1単位時間の組み立てを計画すること。

1 授業参観

前時に学習したことを想起させ、本時と前時の違いを確実に捉えさせようとして課題を設定しました。考え方を説明する場面では、最初に全体で気付いたことを確認し、その後ペアで説明し合う活動を行いました。そのため自信をもって話すことができている児童が多く見られました。最後は、時間を十分にかけて適用問題に取り組みました。授業の視点と手立てが明確であり、最後までぶれることなく進められた授業でした。



2 協議

異なる方法を発表した児童への対応やペアで説明し合う場面での声掛け等、きめ細やかな支援が随所に見られ、一人ひとりの児童を大切に丁寧な指導が行われているという感想が出されました。



「算数音読」のカード

また、家庭学習で「算数音読」を行い、算数で使う言葉に慣れさせていることや振り返りシートを単元で1枚にまとめ、本時の授業前に前時までの自身の学びを確認してから本時に入ること等を紹介していただきました。

参加者の声 (一部抜粋)

- ・教科書を有効に使っていくこと(つないでいこう算数の目)をしあげ以外でも使うのはよいことだと感じた。今後の指導に役立てていこうと思う。
- ・練習問題に多く取り組ませたいと思い、スキル問題も準備しているがやりきれない時が多い。今日の授業を拝見し、ノートに書く分量を少なくしプリントなどで支援することで、時間を確保しようと思う。